

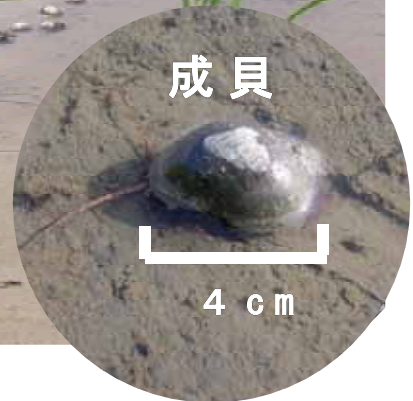
平成18年度病害虫発生予報第1号(4月予報)

<お知らせ> 名称及び連絡先の変更があります。裏表紙を参照して下さい。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

今月のトピックス

スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ) *Pomacea canaliculata*(Lamarck)



生態と被害

本種は周年活動する。母貝は夜間、水辺の植物の茎葉や杭等へのぼり産卵する。孵化した幼貝は水中に落下し、種々の植物を食べ2～3ヶ月で成貝になる。12月～2月にかけては繁殖力が低下する。水田作物ではイネ、イグサ、ミズイモ等への加害が認められている。摂食行動は水中でのみ行われ、発芽時の幼植物や軟らかい植物を好む。イネでは、移植直後から3週間程の苗が食害を受けやすい。

予報の見方

発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。「発生の程度」は平年との比較を示しています。そのため毎年その月で高い数値が続いた場合にはその月の「発生の程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考して下さい。

平成18年4月3日

沖縄県病害虫防除技術センター